

地域とともに

「美の里」で挑む日々。

会津美里町
地域おこし
協力隊







ちらし・パンフレット
お取りください

地域おこし協力隊とは？

都市地域から町内に転入し、
概ね3年間の任期の中で **地域協力活動** を行います。

活動を通じて、地域活力の維持・強化を図り、
隊員が町内に **定住・定着** することを目標としています。



地域おこし協力隊制度のしくみ

「特別交付税」とは？

地方の財源不均衡を調整や
特別な需要への調整を目的とする
国が地方に代わって徴収する地方税であり、
国から地方へ財政措置として配分される

ポイント!!

地方公共団体の**固有財源**であり、
用途は**地方公共団体**が決定する
そのため、協力隊制度は**自治体により様々**

国（総務省）

特別交付税

特別交付税として申請できる経費

➡ 最大550万円/隊員1人
（内訳）給与：上限350万円
その他の経費：上限200万円

地方公共団体（会津美里町役場）

地域おこし協力隊制度を構築・実施

地域おこし協力隊を雇用
活動費の予算化

ポイント!!

× 地域おこし協力隊の予算 = 550万円
○ 地域おこし協力隊の予算 = 町が予算化した金額

受入先

・本郷焼事業協同組合
・株式会社米夢の郷 等

委託

地域おこし協力隊

ポイント!!

× 活動に使えるお金 = 200万円
○ 活動に使えるお金 = 200万円 - (保険料 + 通勤手当 + 家賃補助等)

地域協力活動を実施



なぜ、協力隊を導入するのか？

会津美里町が地域おこし協力隊を募集する目的は、

- ① 会津美里町総合計画に掲げる **地域課題の解決** と
- ② 町外人材の定住・定着による **人口の増加** です。

平成28年度に協力隊を初めて導入して以来、地域の課題ごとに協力隊を募集し、地域課題の解決に向けて、20名以上の隊員が活躍してきました。

会津美里町が地域おこし協力隊を募集する目的

地域おこし協力隊



採用条件

地域協力活動

移住

地域課題（総合計画等）

人口減少・空き家問題

地域課題
の解決

定住による
人口増

これまでの地域おこし協力隊の取り組み



会津美里町 地域おこし協力隊が**目指すもの**

それは、
地域と協力隊が
共に幸せになること。

地域おこし協力隊 にとっても **生き甲斐** を探すきっかけとなる一方で、隊員の地域貢献活動を通して、**地域** にとってもメリットがあるような関係性を目指しています。



会津美里町地域おこし協力隊が目指すもの ➤ 三方良しの関係



協力隊

- 自身の才能・能力を活かした活動
- 理想とする暮らしや生き甲斐発見



地域

- 新たな視点、熱意による地域への貢献
- 新規事業（法人、飲食店等）の可能性



町役場

- 行政ではできなかった柔軟な地域おこし
- 住民が増えることによる地域の活性化



(地域おこし協力隊希望者の皆様へ) 隊員への支援について

協力隊の方々が会津美里町での暮らしを楽しんでもらえるように
町としても、様々な支援を実施しています。

助成制度のほか、地域の協力団体と連携し、
協力隊が活動しやすい環境を整えています。

OB・OGによるサポート体制も充実させ、
地域住民の方々や現役隊員間の交流も行っています。

会津美里町の地域おこし協力隊への主な支援制度

01 住宅費用助成金

- ・住宅賃借料月額4万5千円を上限に助成
- ・引越し経費 単身世帯10万円、同居家族のいる世帯15万円を上限に助成
- ・敷金・礼金等 9万円を上限に助成

02 自己研さん費助成

- ・年間10万円を上限に助成

03 情報発信経費助成

- ・情報発信に必要な画像・動画編集、デザインに関するオンラインサービスの契約に要した経費を年間10万円を上限に助成

04 起業支援補助金

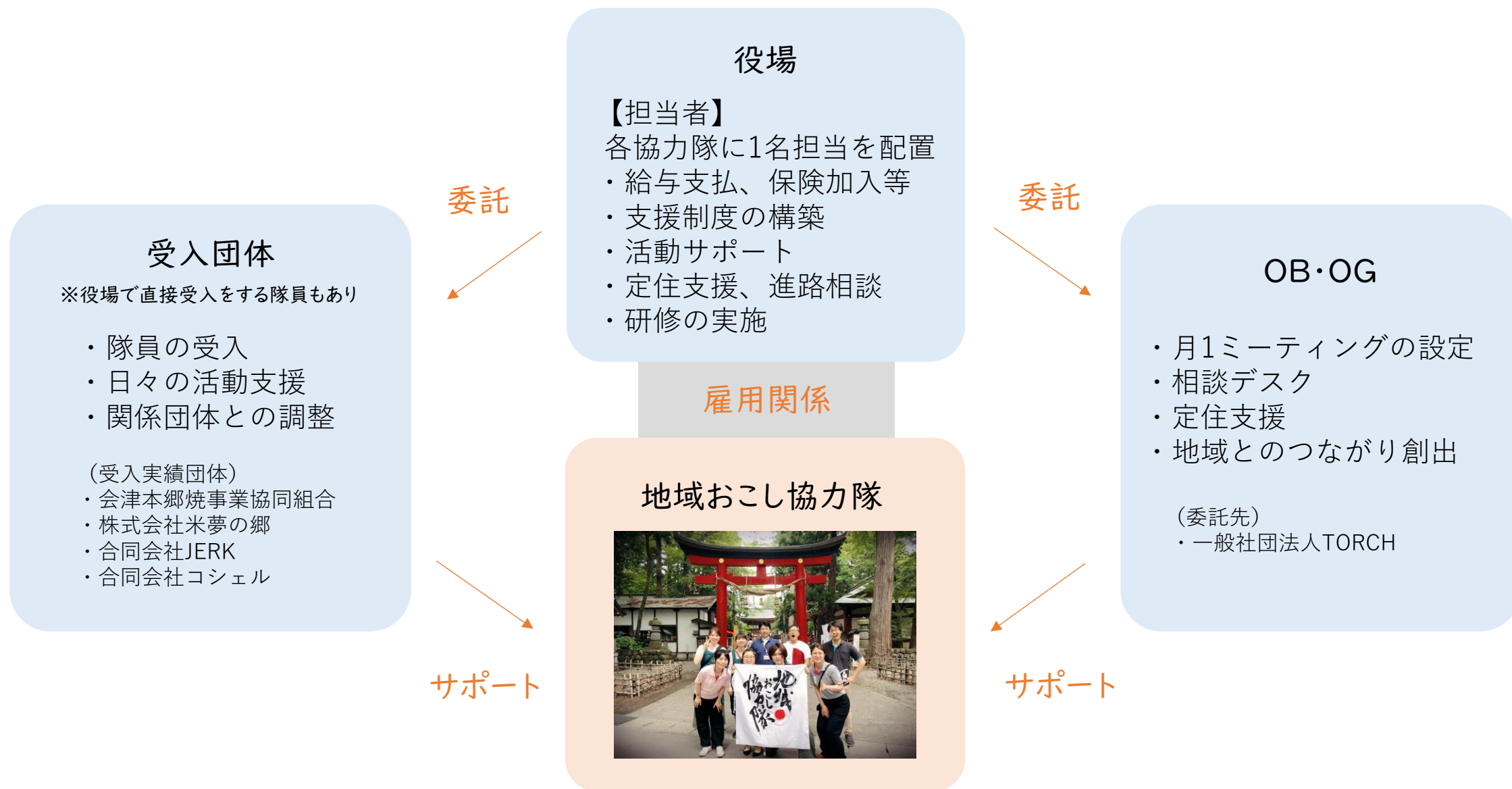
- ・起業に要する費用を1人あたり最大150万円を補助



05 地域おこし協力隊OB・OGによるサポート体制

- ・一般社団法人TORCH(会津美里町地域おこし協力隊元OB・OG)にサポート業務を委託し、月例ミーティングの実施や相談デスクを設置
- 月例ミーティングでは、隊員のスキルアップを目的とした研修のほか、隊員・OB/OG間で情報共有や日々の悩みや活動に関する相談などをする貴重な機会になっています。

会津美里町協力隊の体制について

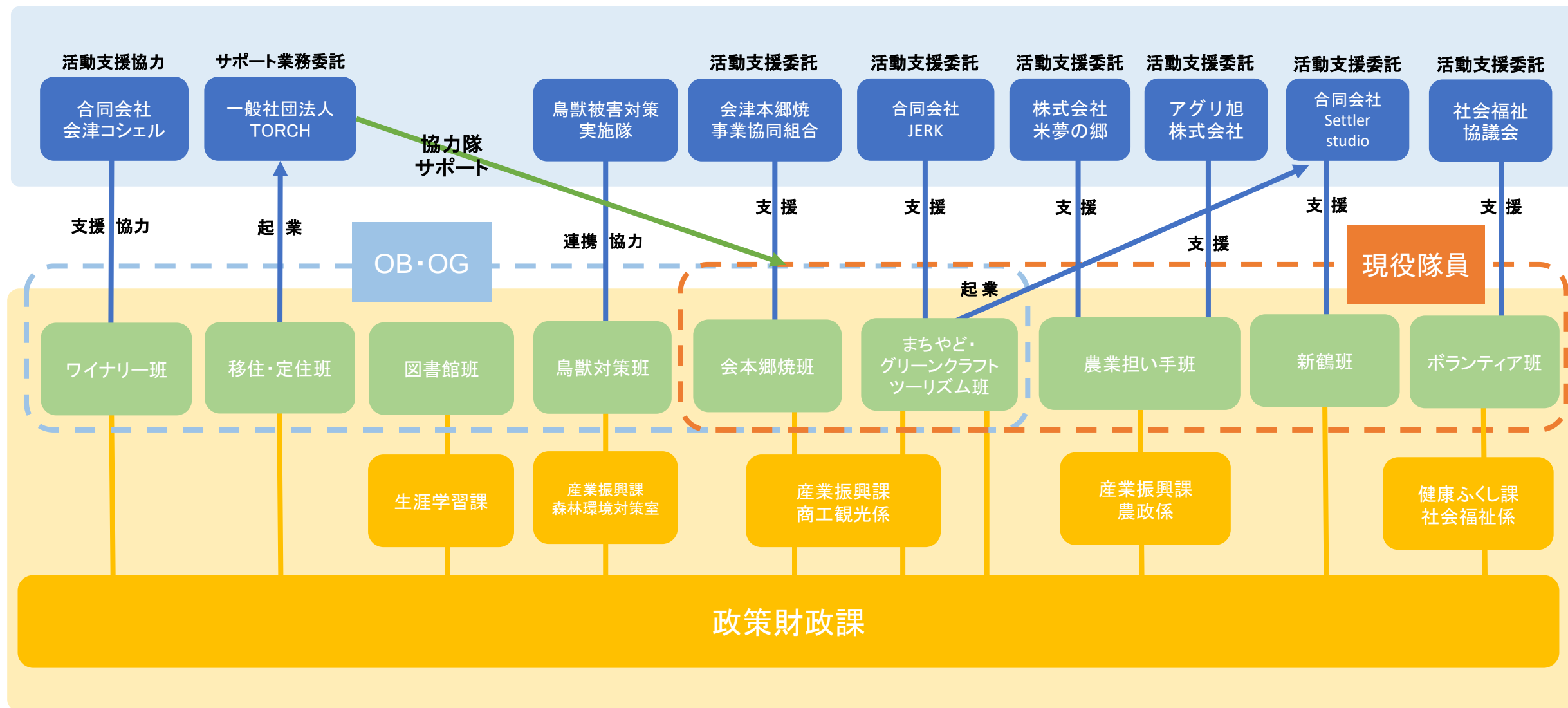


会津美里町協力隊の体制について

町担当課

地域おこし
協力隊

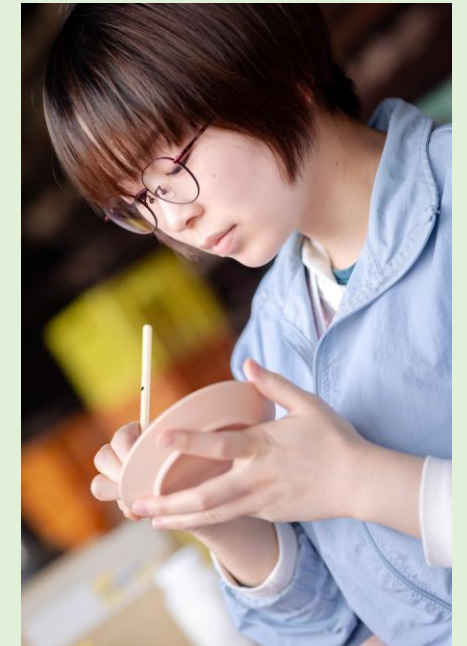
協力団体



(地域おこし協力隊希望者の皆様へ)
会津美里町を
新たな**挑戦**の場として
選んでほしい

「農業をやりたい!」、「陶芸家になりたい!」
「自分のスキルを活かして鳥獣対策に携わりたい!」
「地方での暮らしを楽しみたい!」

そんな思いを持った方々が会津美里町に移住し、
地域おこし協力隊として自分の目標に向かって
活動しています。



会津美里町協力隊の任期中～任期後のイメージ

新たな価値・理想の暮らし



- ・ じゃらんかけアクセサリショップの開業
- ・ ぶどう農家としてワイン作り
- ・ 空き家を工房とし、窯元として独立



地域課題
(ビジネスチャンス)

図書館の立ち上げ
ワイナリーの立ち上げ
空き家、人口減少問題
鳥獣被害
会津本郷焼の後継者問題
農業の担い手不足
滞在型観光の推進

マッチング

&

3年間の協力隊活動

地域おこし協力隊
(やりがい・いきがい)

司書の資格を活かしたい
ぶどう農家として就農したい
空き家を活用した事業をやりたい
狩猟に興味がある
焼物づくりに興味がある
身しらず柿を作りたい
デザインのスキルを活かしたい

(地域おこし協力隊希望者の皆様へ)
**会津美里町での暮らしを
心から楽しんでほしい**



地域おこし協力隊の方々にとって、
見ず知らずの土地で生活をしていくというのは
はじめは大変なことだと思います。

ですが、会津美里町での暮らしを
最大限楽しんでもらえるように
町としても、全力でバックアップいたします。

また定住を目指す協力隊にとって、
同じ志を持った現役隊員やOB・OGも心強い仲間です。

現役隊員、OB・OG、役場職員一同
会津美里町地域おこし協力隊として仲間になってくれる方を

心よりお待ちしております！！

各協力隊が持ち回りで担当し、町広報に記事を掲載しています。
地域おこし協力隊を町民の方々に知ってもらうことを目的に始めました。
日々の活動について、紹介しておりますので、ぜひご覧ください。



ほのほのみさと

協力隊だより

5月

活動報告と
COBACOのご紹介

COBACO オープンのお知らせ

本郷地域・瀬戸町通りに、COBACOという施設がオープンしました。レンタルスペース・レンタルキッチン・アクセサリーショップ、カフェが集まる場所です。スペースやキッチンだけではなく使うことができ、おたのしみするのでも、イベント、出店などさまざまな使い方ができます。3月のオープンイベントにはたくさんの方にご来場いただきました。お越しくださったみなさま、ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございます。

5月3日にグラウンドオープン迎え、ゴールデンウィーク期間中は営業する予定です。お出かけの際には、ぜひCOBACOにもお立ち寄りくださいませ!

最新情報はInstagramラム、フェイスブックで発信中です。こちらからご覧ください。

店舗スペース

元たばこ屋さんだったお店部分には、アクセサリーショップ、カフェカウンターがあります。

レンタルキッチン

イベント出店から「使いやすい!」と大好評でした。パンやお菓子もつくることができます。

MiSSE 特別号発刊

「MiSSE」は町内の観光情報や文化についてまとめた冊子です。子ども向けの読み物に開する本が少なくないと感じ、小学生を対象に金津本郷を紹介する特別号として制作しました。デザインを担当してくれたのは、金津本郷の技術継承に取り組む協力隊の佐々さんです。

見かてたら、ぜひお手にとっていただくといいね!

MSSE 特別号

今月の協力隊

観光のコンテンツづくりや情報発信、COBACOのイベント企画に取り組んでいます。

あおき 素実夢 松本 素実夢

<Instagram>
@_misato_life

新地域おこし協力隊の紹介

今年度より、地域おこし協力隊として水谷和樹さんが着任しました。これから金津本郷の技術継承に取り組んでいきます。

（水谷さんからのコメント）

私は金津市本郷地域出身です。先祖が金津漆器を生業としてたしに育ちました。金津のものづくりに携わりたいく、金津漆器技術後継者訓練で2年間研修を学びました。授業の中で、陶磁器の漆を塗った「金津漆器」が、過去に金津漆器と金津漆器で作られていたことを知りました。面白そう、陶器の漆を作ってみよう!と思ったことが協力隊に応募したきっかけです。ものづくりを通して、地域を盛り上げるための職人になろうと頑張ります!

みづたに 和樹 水谷和樹さん

★地域おこし協力隊の活動報告やお知らせを行ってページです。

ほのぼのみさと 協力隊だより

6月

今年度の隊員紹介

地域おこし協力隊とは？

都市部地域から町内に転入し、概ね3年間任期の中で地域協力活動を行っています。活動を通じて地域生活の維持強化を図り、隊員が町内に定住できるようにすることを目標としています。会津県内では、協力の課題ごとに協力隊を配置し、解決に向けて様々な取り組みを行っています。

鳥獣から地域を守る
鳥獣対策班！

鳥獣対策の専門員として、令和4年4月より22名の隊員が活動しています。鳥獣の生息域の拡大や耕作放棄地の増加や様々な要因が複合的に関係し、クマやイノシシなどの野生鳥獣による農作物被害が深刻化しています。鳥獣被害対策推進隊の方々と連携しながら、鳥獣対策の知識を深め、町民の皆様が自ら鳥獣対策に取り組めるよう支援を行っています。

▲会津奥里町では、現在8名の隊員が活動しています。

▲左から矢部裕哉さん、岩尾樹さん現場に足を運びながら、鳥獣対策の支援を行っています。

町ならではの魅力を発掘
「ツリーリズム」班！

会津奥里町の文化や日々の生活の中に潜する資源や魅力を磨き上げ、この町ならではの新しい「ツリーリズム」を生み出すことを目的に3名の隊員が活動しています。町民の皆様の協力を得ながら、地域に根ざした体験型ツリーリズムの実施やSNS等を活用した情報発信を行っています。

▲左から松本実夢さん、熊谷郁さん、大木瑞子さん観光コンテンツの造成や商店街活性化を目的としたイベントを実施しています。

本郷地域の伝統を引き継ぐ
「会津本郷班」

会津本郷の技術継承を目指すことを目標に、現在3名の隊員が会津本郷事業協同組合に所属し、技術習得に励んでいます。

～大木隊員からのお知らせ～

あやめ祭り開催に合わせ、「ころんしマルシェ～vol.8～あやめまちおマルシェ」を開催します。高田のまちなかへもぜひ足をのびてください。
◆日程：6月24日（土） 6月25日（日）
◆時間：午前10時～午後3時
◆場所：横町前町通り
詳細はこちら⇒

会津奥里町地域おこし協力隊をようこそ！

▲左から佐藤良也さん、水谷和瑞さん、竹内祐高さん。夏元「流紋焼」、静月堂「技術習得に励んでいます。

約400年の歴史を誇る伝統産業である会津本郷産に携わる方々の高齢化や後継者不足が課題となっていました。歴史ある会津本郷の技術を引き継ぎながらも、自由な感性でものづくりに取り組み、会津本郷産を盛り上げていきます。



「暮らす」からこそ
見えること。



＼活動の様子や募集情報はこちらを検索／

会津美里町 地域おこし



会津美里町
地域おこし
協力隊

会津美里町公式ホームページ

https://www.town.aizumisato.fukushima.jp/gyosei/kurashi_tetsuzuki/5/6/index.html